

「生き生きと自分らしく」とメッセージ

1月16日、市制施行60周年記念 行田市人権教育合同学習講演会が産業文化会館で開催されました。

第1部の加瀬田聡カルテットの皆さんによるパーカッション演奏に続き、第2部で乙武洋匡さんによる「教育現場における人権」と題した講演が行われました。平成19年に小学校教諭免許を取得し、現在東京都杉並区立の小学校で教壇に立っている乙武さん。誰もが持つ得意、不得意を互いに補い合い、生き生きと自分らしく生きてほしいと、日々子供たちと過ごす中で感じていることを話し、満席となった会場からは盛大な拍手が送られました。



胸に焼き付けた2010年の初日の出

1月1日、新春恒例となった「2010年～タワーからご来光～初日の出」が古代蓮会館で開催されました。

午前3時ごろから並んだという若者をはじめ、午前6時の開館には約250人が列をつくるほどの人気ぶり。午前6時50分過ぎに太陽が昇り始めると、写真を撮ったり、両手を合わせて拝んだりするなど、2010年の初日の出をそれぞれのスタイルで胸に焼き付けていました。



新年にむけて力強く鐘つき

12月31日、「行田ゆく年くる年」が忍城址鐘楼付近で開催されました。

午後11時から始まった鐘つきには、午後8時ごろから並んだ方を先頭に長い列ができ、新たな気持ちで新年を迎えようと一人ひとり力強く鐘をついていました。また、おしるこやコーヒーなどで暖をとり、午前0時の年明けを迎えるカウントダウンを行った来場者らは、新年の幕開けを祝い合っていました。



やすらぎの里中庭が憩いの場に

総合福祉会館「やすらぎの里」の中庭を高齢者や障害者が歩行訓練などに利用できるようにと、階段やスロープなどを設置する改修事業の第1期工事が完成しました。これを記念し12月18日、会館のシンボルツリーとして植樹したモミの木にクリスマスの装飾を施したイルミネーション点灯式が開催されました。

この事業は、ものづくり大学と市との協働で行われ、設計・施工は同大学の横山准教授と横山研究室に所属する学生が中心となって手掛けたものです。式典では、工藤市長と神本同大学学長により点灯スイッチが押され、寒空に瞬ききれいなイルミネーションが姿を現しました。